

**（姫路市立総合スポーツ会館 会議室にて）**

**『ツアーオブバレーボール』など、ジュニア育成にも力を入れているヴィクトリーナ姫路ですが、水野さんの子供の頃のことなど教えてください。**

幼稚園からサッカーをずっとしていました。中学校に入ってから本格的にバレーボールなんですけど…。小学校6年生の時に、私が去年までいた全日本（バレー）のチームの海外の試合を（テレビで）観て、『リズムが良くてすごくおもしろいスポーツだなあ』と思ってから放課後、校庭で一人で壁打ちしたり、パスしたりして遊んでいたことを覚えています。そのことを知っていたかどうかは分かりませんが、小学生の終わりくらいに祖母が「ミュンヘンへの道」という雑誌をくれて…大勢いる孫の中でもなぜか私だけなんです。私の叔父も姫路南高校でバレーやってまして、第2回春高バレーに出たって言ってたんです。多分祖母もバレーが好きで、子供もやって、孫にもやらせたいなあと思ってたかもしれないですね。

**（バレーを始めたのは遺伝子レベル？（笑））**

はい。刷り込まれながら（笑）

サッカーはやっぱ難しかったですね。何をどうしたらいいのかあまりよく分からず、試合しても『難しいなあ』と思ってた。でもバレーをしたら『しっくりきた』というか『やり方を知っている』というか、そんな感じで…好きなのはフライングレシーブ！こう胸から滑り込んでいくレシーブでアタックというよりはフライングレシーブがどうやったら綺麗にできるんだろうと考えてました。

**（子供の頃の体格は？）**

体格は大きかったですね。何センチだったかは覚えてないですけど、小学校の卒業アルバム見るともう1人私よりもちょっと大きい子がいたんですが、2人だけがボコンボコンと皆から飛び抜けてましたね（笑）。

東光中学校から（本格的にバレーを）始めて、活躍したというほどのことはなかったですけど、中学3年の時には中播地区の選抜チームに選ばれました。

**（そこで基礎を学ばれたわけですね？）**

はい。当時の中学校の恩師は、たまたまなんですけど私が全日本（チームのコーチ）に就任した年に、母校の東光中学校の校長になられて、そのことが縁で横断幕を作って頂いたり、今でもすごく面倒見ていただいています。

**（当時バレー部の部員は多かったですか？）**

そんなに多くなかったと思います。あんまり覚えてないですけど…高校の（部員）は少

なかったですね。私の学年の前後（の学年の部員）も少なかったんで、いつも 8 人位で練習してたような記憶はあります。

**（1年から3年合わせて？）**

そうですね（笑）。

**（姫路西高校でしたね？）**

（部活ではなく）皆勉強してるんですかね？（笑）本当少なかったです。

**（西高を選んだ理由は？）**

バレーの強豪校から（入学）誘われたりもしてたんですけど、私の一つ上の姉が西高に通ってたというのと、あと親の影響もあるのかもしれないですけど、昔から『あんたはこの高校行くんで！』と言われてて（笑）…勉強で高校行こうと決めてました。実は、高校の時に『体育の教師になりたい！』と思ひまして、西高の体育の先生方がたまたま西高から筑波大学（という経歴）だったんで…。『体育の教員になるんだったら筑波大に行くんだなあ』と思ひて、大学を筑波に（決めました）。同じ希望の同級生がいて1年生のうちから『一緒に学校見学行こう！』って行ったこともありました。

**（部活ではキャプテンを？）**

中学生の時はやって無かったですけど、高校ではやってましたね。

**（当時の憧れの選手は？）**

1996年にアトランタオリンピックがあったんですけど、当時高校1年で男子バレー決勝のオランダ対イタリア、そのイタリアのベルナルディ選手が好きで、家帰ったらずっと録画したビデオ観てました。もう解説者が次に何を言うかも分かるくらい（笑）

私ヨーロッパに7年行ってポーランドにもいたんですけど、そこで同じリーグの監督にベルナルディさんがいて試合して勝ったこともあります。

その時一緒に写真を撮ってもらって…嬉しかったですね。同じ立場で試合できるっていうのも（嬉しかった）。

**（外国語は堪能？）**

（ベルナルディ監督の話す）イタリア語はできません！（笑）でもノルウェー語はできますよ！

**（例えば『こんにちは』は？）**

英語と一緒に、『ハロー』。ノルウェー、スウェーデン、デンマークやドイツ、イングランドとかあの辺り、ゲルマン語派なんで英語と一緒にような感じです。

**（外国生活はどうでしたか？）**

2000年にシドニー（オリンピック）に竹下さん（現ヴィクトリーナ姫路監督）が行けず、『（日本は）こんなちっちゃいセッター使ってるから負けたんだ』ってバッシングされた時、大学卒業して、日本の日立リヴァーレという女子バレーボールチームでコーチに就きました。『もう少し違う練習を知りたかった』し、ヨーロッパ（のバレー）がかなり強かったので『ヨーロッパ（の練習方法）を勉強してみたいなあ』と思ひてた時、チーム合宿で「上

尾（メディックス）」というチームがあるんですけど、その上尾と一緒に、当時の監督が大学の先輩だったんですが、『今後将来どうするんだ』と聞かれて『ヨーロッパで勉強してみたいです！』という話をしたらVリーグが終わって、『ドイツに知り合いがいるから、（コーチとして）トライアウトを受けに行け！』と。ですぐに（ドイツ）行きました。結局、そのチームはスタッフをプラスで雇うお金がないってことで雇ってもらえなかったが、その監督がノルウェー人で、ノルウェーが、優秀な高校生とかを一つの高校に集めて強化していくことになって、監督を探しているというので、そこに（行きました）。

**（高校の先生ですか？）**

そうです。でも向こうは、部活動という概念が無いのでバレーだけの監督で。寮があって、体育館があって、すごくいい所でした。

**（選手として活躍しようっていうのは無かった？）**

大学出てからは、コーチになろうと。やっぱり（選手としては）背も低くて続けていくのが無理だとはわかってたので…あとは、やっぱり指導するのが好きですね、自分が選手としてやるよりは。

**（体育の先生になる夢は？）**

体育の先生は…実は大学4年の時に母校で教育実習したんですけど、教えるのが難しかったというか、教壇で喋るのがあんまり得意じゃないなあと…やはり進学校なので、部活より勉学を優先しますよね、私としては（教師をしながらでも）もう少しバレーをやれると思ってたんですがそうではなかったの、若いうちはバレーをもうちょっとやりたいなって…。それで日立（リヴァーレのコーチという職業）を選びました。学校の先生も大変ですねえ。いろんな事をやらないといけませんから（汗）

**（体育の先生という夢は、バレーがやりたいから？（笑））**

そうですね。バレーがやりたいからっていうのはありましたね。

**（バレー以外ではどんなスポーツを？）**

サッカーは難しかったですね、水泳も難しかったです（笑）あとは、小学校の時に野球もやりましたね。野球はおもしろかったです。でも、（やはり）バレーがしっくりきました。

**（それからずっとバレーですか？）**

そうですね。小学生からハマってそれからずっと、もう25年になります。

**（教えるのと自分でやるのと違うと思うんですけど、どのような指導方法を心がけてましたか？）**

ヨーロッパは、練習メニューが本当に豊富で、様々な練習方法を勉強出来ました。日本の練習って、コートの上に立って練習してる選手が多い。ヨーロッパでは、練習中、『全員を動かす練習をさせること』と『対戦型のゲーム、相手と勝負（駆け引きをさせる勝負）をさせること』（を行うことを徹底しました）。

オフェンスだけの日、ディフェンスだけの日とか、それによって種類がすごく豊富になる。日本ではレシーブ練習から始まってアタック、ゲーム…全部やりますけど、向こうは、

『やること』にフォーカスしてそれだけをやる、さらに深く掘っていく。また向こうは 2 時間しか練習させないんですが、日本は 6 時間、7 時間とか練習させて選手をへトへトにさせるんですけど、2 時間で選手がへトへトになるというのは（練習に）無駄がないということ。効率的だと思います。あと、もう一個付け加えれば、日本の指導は同じことの繰り返しで『もっと他に出来ることはないか？』とずっと考えていました。やっぱり向こう行くと選手に頭を使わせる練習が多いです。実際の試合では自分たちで解決していかないといけないことが多いので、そこはやっぱり、考えさせる練習をさせてますよね。

### **（そういう指導はどうやって勉強を？誰かに教えて頂いた？）**

いろんな練習を見に行ったり、私の上にいる監督に教えてもらったり、そんなことをしながら、はい、自己流です。いろんなことを見たり、聞いたりして自分なりにこれが面白いんじゃないかというのを一つ作り上げました。

（自分が）選手時にはやらないといけない練習はやってましたけど、ヨーロッパ行って、『練習』というものの考え方が変わりました。おもしろい『練習』を知ったので、これを選手にやらせてあげたいな、上手くしてやりたいなって…帰国後、長崎国際大学で指導した時は、「今までやってきた練習とは全く違う練習だったので、おもしろい」と言われましたね。日本では先生（指導者）に何か言うってことがあんまり無いじゃないですか？でもヨーロッパでは選手たちが私にずっと話しかけてきますし「今日ひざ痛いから練習休ましてほしい」なんて、普通に言ってきます。そんなのが当たり前なんで、（日本の）大学で指導してる時は『自分らで練習時間決めていいよ』とか『体が痛かったら無理せんでいいよ』と。最初は『試されてるんだ』と思ってたあとで言われたことはありました。『そうやって言ったらレギュラー外されるんじゃないか』とか（笑）でも、ヨーロッパでは「自分の体が一番大事」なんです。痛いのには絶対に練習しないですもん。100%の状態に来て、100%の練習をする。中途半端な状態では絶対に練習しない。あと、選手は指導者をリスペクトしている。そういう信頼関係の作り方もそこで学びましたね。

### **（指導する時に重点をおくことは？）**

うーん？やっぱり『チームカラーを作る』ということですね。それが出来上がれば、あとは同じ方向に進んでいくと思うので、そういうところをちゃんとさせるのが大事だなというのはありました。全日本（チームにコーチで）いた時は、私サーブ担当を 2 年やって、そのあとオフェンス担当を 2 年やったんですけど、ヨーロッパでは“どんな練習をすればいいのか”というのを学べて、日本ではさらに進んだ“一つの技術をどうして組み立てていくか”ということを勉強できました。

### **（全日本コーチ時の真鍋監督とのエピソードは？）**

真鍋さんは、いい意味で、人を使うのが上手い人です。サーブコーチ、オフェンスコーチ、ディフェンスコーチいましたが、基本的にやることは全部（コーチに）任せてくれます。こちらが（いい）結果出せばさらに認めてもらえるので頑張っていましたね。で、時々アドバイスをくれます。『ちょっとコレ、こうしたほうがええんちゃうかな？』とか。データ

も見せられて…その真鍋さんの出すデータが（自分の持っている）上をいって、更に詳しいデータなんですね。やってない（練習の）ことこのデータで、『こう（練習）したらこうした（良い）データ出るぞ』みたいなこと見せられたり…本当に凄い人です！普段は、人を笑わせるのが好きな、真面目な方です。私お酒好きでかなり強いんですが、一緒に飲んでも真鍋さんはさらに強くて全然酔わないんです！

### **（真鍋さんとは、どういった経緯で知り合った？）**

ロンドン（オリンピック）終わって全日本女子チームのコーチを何人か探してたらしく、そのうちの久保という元々ロンドンからリオまでいたコーチが大学の先輩で、紹介してくれたんです。真鍋さんも『海外のバレーボールをよく知ってるコーチがいないか』ということで…同郷だから呼ばれた訳じゃなくて、後で『お前姫路出身だったんか！』と驚いてましたから…私自身もシドニー（オリンピック）負けて、『私一人がどんな役に立てるか分からないけど、将来日本のバレーの役に立ちたい』と思って（海外に）行ったんで…それが繋がって良かったなあと…

向こう（海外）では最初は言葉全然喋れなかったですね。日立（リヴァール）にアメリカ人選手がいたので、その選手にずっと話しかけながら英語を学びました。向こうに行った時にも英語とノルウェー語を夜選手たちに教えてもらったり、高校生ね（笑）他に移民政策の一環で移民に無料で外国語を教えるっていう制度があって、無料で週 1 回教えてくれるので、そこに行って勉強してました。でも、ノルウェー語をノルウェー語で教えられるので、訳分からなくて（笑）先生も英語喋れるんですけど、わざと喋らないんですよ。まあでもそのほうが絶対早く覚えられます。2年間でノルウェー語覚えられました。

### **（今も話せますか？）**

多分（汗）（話せる）人がいたら喋れます。もともと海外に興味を持ったのは小学校 5 年生の時ニュージーランドに 2 週間ホームステイしたのがきっかけで海外に住んでみたいなあ…海外旅行で行くだけだったら、その国の生活とかその国の人達が考えてることが分からないので、そういうのを知ってみたいなあ…と興味が湧きました。

そういう経験で大事だと思います。一緒にホームステイしてた近所の男の子も成人してからニュージーランドに一年位行ってたり…やっぱり小さい頃の影響で大きいんだなあ…と思いましたね。嫁もそういう話知ってるんで、（自分たちの）子供たちも海外行かせようって（話してます）。

### **（今お子さんはおいくつ？）**

上の子は小学校入ったばかりです。小学校 1 年生が一人と、2 歳が一人です。横浜からこの 3 月に引っ越してきたばかりですが、すでに皆と仲良くしてるみたいで安心してます。

### **（お話を伺っていたら、水野さんはかなり好奇心旺盛な方？）**

そうですね、何でも決断は早いです。でも今の仕事を始めてからは（周囲から）『もっと考えろ』と言われることが多いので…（汗）

### **（どういった経緯でヴィクトリーナに？）**

やっぱり真鍋さんが、いいリーダーなんで！同郷でもあります、『付いていきたくなる』ようなリーダーなので、真鍋さんに『姫路盛り上げるために帰るぞ！』と言われて、『じゃあ帰ります！』という感じです。

### **（それも即決で？）**

一応家族には相談して（照）。デンマークは嫁と2人で2年間行って、最後のポーランドには子供も一緒に…それから佐世保や横浜など家族はどこでも一緒です！

### **（いずれは姫路に帰ろうとは考えてましたか？）**

こだわらなかったですね、バレーがあるところ、（バレーの）仕事があるところで一生懸命やろうと思っていたので。真鍋さんに誘っていただき、『次は姫路か…』というくらいで。姫路はやっぱり、バレーボールが盛んなところなので、そこで日本で初のプロチームということで、『絶対成功させたいな』と思って帰ってきました。

### **（姫路の印象は昔と比べてどうですか？）**

（大学からずっと姫路を離れて）高校までというのは、あんまり姫路のことを知らずに出て行ったようで、今姫路に帰ってきて、いろんな企業の方々とお会いして、なんか姫路を違った視点で見れてます。“もっと”って言ったらおかしいですけど、凄い田舎なイメージだったんですけど、それは自分があまりみていなかっただけで、すごい元気があって活力があって、思ったほど地方都市じゃない、田舎じゃないなど。ちょうどいいですね、人も多すぎず、東京行ったら人が多すぎて嫌だったですね。電車どの時間乗っても満員ですもん。『どんだけ人おんねん！』って（笑）減ってることがない！

### **（今営業されているということですが、どうですか？）**

（コーチとして）リオオリンピックまで行かせていただいて、なんかもう満足したなあという（気持ち）のが出てきちゃったので、今はコーチやりたいなって全然思わないですね。会社の運営側の仕事をしていて、こっちが楽しいなど。昔はバレー馬鹿でしたけど今は…営業馬鹿ですね（笑）いや、そこまでもいけてないですけど…

社会人になってから去年まで体育館でボールを打ってたことしかなかったので、ネクタイ締めて営業するという経験が全くないので、ホント何をどうしたらいいのか分からない状態からスタートしたところ。社長の橋本が営業マンで、指導してもらってます。

### **（プライベートで体を動かすことはありますか？）**

この前久しぶりに走りました。ちょっと飲み会が続いてこれはヤバくなって（笑）。普段は朝から晩までずっと仕事なので、中々体動かす機会がないです。座ってパソコン打つのも好きなんです。全日本（女子チーム）にいた時作戦会議用として映像編集とかパワーポイントとかで資料作ったりもしてましたので…

### **（お酒が好きと言われてましたが、海外でもよく飲んでました？）**

はい、何でもイケるんですが、ノルウェーやポーランドではウォッカ飲んでましたね。寒いんで（笑）。行った所本当にどこも住み良かったですねえ。ノルウェー、デンマーク、

ポーランド…嫁は、ポーランドが良かったって言ってましたけど、食事がおいしかった。綺麗な街並みでしたし…ノルウェーの時はオーロラも見ました。夏の夜は白夜。フィヨルドの向こうにある山の陰に太陽が時間か二時間隠れるくらいなんで寝れないですよ、明るすぎて（笑）。冬は反対にずっと真っ暗で…『フィッシャーオイル』というビタミンEを飲んだりしてました。

**（好きな季節は？）**

私冬が好きです。汗かきなんで（苦笑）兎に角、汗かくのが嫌なんです。夏は外を歩けないです！

**（食べ物の好き嫌いなどはありますか？）**

嫌いなものは、内蔵系だけ、レバーとかホルモンとか。それ以外は何でも食べます。あっ！ノルウェーサーモン好きでした。サーモンとライスだけでOK（笑）

**（現役の時はよく食べてた？）**

大学生のときは夜ごはんだけで3合とか食べてましたね。で、多かったのは野菜摂れるように豚汁作って、魚とかと食べてました。

**（自分で料理を？）**

作ってましたね、大学時代よく…最近では、チャーハンとか作ったら子供喜んでました（照）。

**（子煩悩なんですね？）**

そうですね。子供好きです。2歳の娘は私がいる時はずっと膝の上に乗っかってます。嫁の実家の男性は皆野球（する人）で、義兄は横浜高校の野球部で、あの松坂大輔と一緒に甲子園に出ています。だから息子には野球させたくて！今姫路のバレーは小・中学生にもいい選手がいますが、他府県にどんどんいい選手が流出してるので、それを食い止めるためにもヴィクトリーナ頑張らないと！…と云ってるところ自分の息子を横浜高校行かせたら、『お前何してんねん！』とか言われそうですけど（汗）

**（2歳の娘さんを将来はヴィクトリーナに？）**

そうですね、娘がヴィクトリーナに行けば…。（日立リヴァーレの選手だった）嫁は小学校2年生からバレー始めたと言ってるんで娘にはバレーをさせたい。娘はヴィクトリーナに入れないと！（汗）

**（今後の目標は？）**

ヴィクトリーナが日本で初のプロチームとして成功するように、まずは頑張りたいですね。組織をしっかりと作るということで、チームはチームで竹下監督がしっかりと作ってくれてるので、私は、運営する側で、真鍋GMを中心にヴィクトリーナ姫路の一員になれるように頑張りたいなど。

**（スポーツ会館とかウイंक体育館とかの施設について何かありますか？）**

姫路市の皆様に全面的にバックアップして頂いて非常に快適に練習させて頂いております。予約が取りにくいときもありますが、それでも、昔からの友人の山陽中学校の寺脇先

生が体育館の手配をしてくれたり、教育委員会にいる飯塚先生からいろんな中学校を紹介して頂いたりと様々な方々にご協力いただいているので非常に助かっております。

実は私、大学時代この総合スポーツ館で研修したことがありまして、当時いらっしゃっていたのが宮崎さん（現在ウイंक体育館の館長）でその頃から知り合いで、それでよく面倒見て頂いております。中学校時代から大会等でスポーツ会館も使っていましたので、思い出深い体育館です。変わってないですね。

#### **（現在個人的にもバレーの振興にご尽力されているとか？）**

この前のGWに初めて母校の東光中学校の練習に行けたんですけど、もっと時間見つけて練習いろいろ行って姫路のバレーを盛り上げられるようにしたいなと思っております。今は仕事に追われてあまり行けてないんですけど…

ヴィクトリーナとしても『ヴィクトリーナサーキット』とあって、選手たちが2人位でいろんな中学校に行って練習を見ようっていうことも計画してるんですけど、僕個人でも、呼んでいただければ行きたいと思っています。少女バレーとか中学校の部活動、ママさんバレーとか…ボランティアで！それで行って最後にファンクラブのチラシを配らせて頂ければ（笑）…幸いなことに自分が全日本（女子バレーチーム）のコーチをしていたというのでも知ってもらえてるので、行って喜んでもらえたら嬉しいです。何ができるっていうわけじゃないですけど…やはりイイもの持っている子はいます。ボールの扱い方とか、持って生まれたものだと思います。木村沙織選手はレシーブが上手いと言われていたんですが、あれは教えられて出来るものではないですね。

#### **（やり方を他の選手とかに聞いたことありますか？）**

以前木村沙織さんにショートサーブは聞いたことがあります。バレーボール教室に行ったら、教えてあげるんですよ。「木村沙織はこうやってすると上手くいくって言ってたよ」と。じゃあみんな目が一瞬で変わりますもんね。あの木村沙織選手が言ってたんだって。あれはいい効果ですね。

#### **（必ず教えていることは？）**

綺麗に見えるフォームが一番効率良いフォームだということ。それをちゃんと言葉で教えてあげるっていうのを意識してやっています。

例えばアタックも、反ってアタック打つんじゃないで、自分を串刺し（イメージ）にしてしっかり右肩を引いて体の回転で打つ。肘が前に出ると低い打点になるんですけど、手の平を外に向けると、肘が後にくるようになる。また、『左手でボールを見て叩け』というのはボールを見た後回転を自分が打ちたいところで止めるとか、体をどうやって使えば効率よく打てるかとか、理論的に教えます。他にPC持って行って実際うまい選手のプレー見せたり…

#### **（考えてプレーすること？）**

やっぱり考える力は大事ですね。勿論同じことを繰り返す練習も大事なんですけど、日本の若い人たちには、頭使った練習もさせないとダメですね。それとスポーツはやっぱり



駆け引きです。だからそこも上手く育てていかないと。監督が出すボールばかり受けてもあんまりゲームが上手にならないので、相手とどうやって駆け引きするかってのを学ばせませう。

自分が見に行った時にはゲーム練習をやらせる。バレーボールで一番難しいのはサーブとサーブレシーブなんで、それを取り除いたゲームをすると割と繋がる。やっぱりラリーが続くと楽しいので、子供たちがいかに楽しめるかってのを考えながらやっています。でも、バレーボールで一番大事なのはサーブとサーブレシーブ…これが本当に大事なんで基礎練習も大事にしていきたいです。

### **（バレーの魅力とは？）**

バレーの魅力は「繋ぐ楽しさ」です。3回しか（一度にボールに）触れないのでリズム良く繋ぐ！これですね。

### **（また指導者になることは？）**

考えられないですね。今は姫路の事務所の中心的立場として働いていますので…体2つあればいいんですけど。ずっと言ってますが、まずは日本初のプロバレーボールチームが成功するように頑張りたいですね。森永乳業さんにもご協賛いただいてヴィクトリーナドリームズのバレー教室を今年も全国21箇所でする予定です。第1回が姫路の置塩中学校からスタートします。

### **（お忙しいですね）**

姫路市とバレーボールに育ててもらいましたので、バレーボールが、子供たちが憧れるくらいのメジャーなスポーツにしたいですし、姫路市も更に盛り上がるように恩返ししたいなと思います。

実際バレーだけでは（職業として）食っていけないので、『プロになれば1億、2億貰えるんやぞ！』というようなメジャースポーツにしたい。憧れがないと子供たちも（バレー）しないですし、『JAPAN』という日本のチームも強くなっていかない。そういうところを真鍋GMの下ヴィクトリーナのメンバーと一緒に目指してやっていきたいですね。真鍋さんは指導者としての力量の大きな人、指導者に指導力がないとやはりいい選手は育たないので…

### **（指導者の育成なども？）**

『指導者の指導』というのもいずれはしたいなとは考えます。私自身全日本（チームのコーチ）時は山形市に呼ばれて、山形市の中学校のバレー部顧問に指導をレクチャーしましたし、ナイジェリアに呼ばれてナイジェリアの指導者たちに指導方法を伝授するっていうのもやりました。姫路でももし必要ならいずれはやってかないといけません。中学校の指導者があまりいないっていう現状を伺ってますが、小学校でやって中学校の部活でバレーをやらなとか聞くと、指導者の育成はこれからの課題ともいえると思います。と同時に自分の思っていることを自分の口で言える、自分で考える子供たちを育てていきたいなと思います。

**（最後に、将来の夢は？）**

まずは、ヴィクトリーナ姫路を成功させること！

そしてオリンピックにヴィクトリーナ姫路の選手が出場して、金メダルをとることです！

**インタビュー中、少しはにかみながらでも力強くお話をしてくださいました。**

**本当にありがとうございます。これからのご活躍を楽しみにしております。**

水野氏やヴィクトリーナ姫路にご興味を持たれた方はこちらもあわせてご覧ください。

ヴィクトリーナ姫路公式サイト <http://www.victorina-vc.jp/s/HV/?ima=2401>